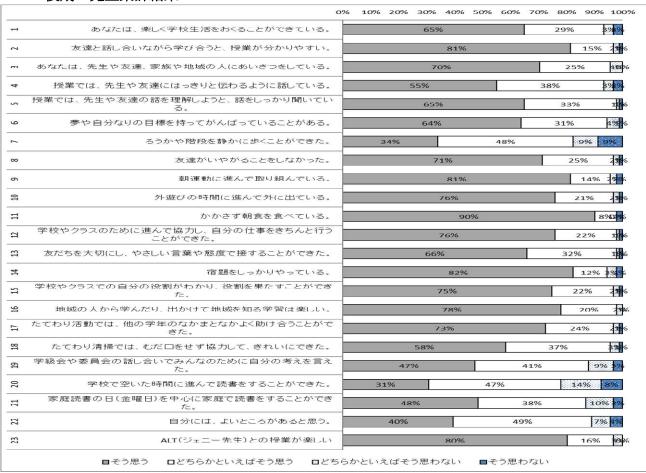


令和2年2月 特別号 伊豆市立修善寺小学校

令和元年度修善寺小学校 後期学校評価アンケートの結果及び回答

2学期末に実施しました学校評価の結果について報告させていただきます。また、本校にて学校評価委員会を開催し、評価委員様よりご意見もいただきました。併せてお知らせいたします。

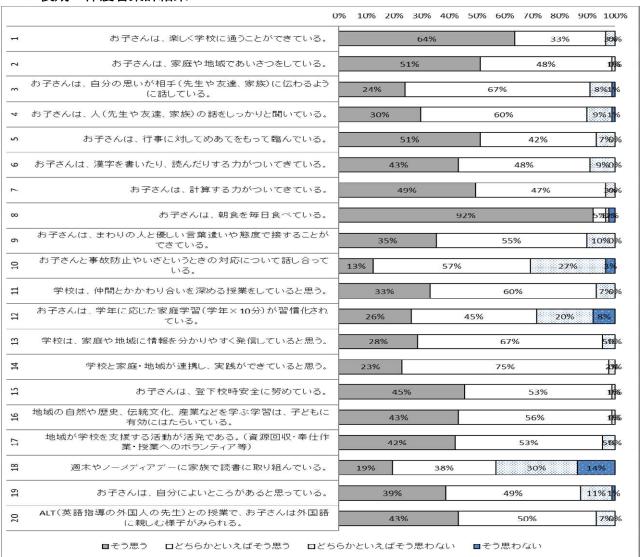
R1後期 児童集計結果



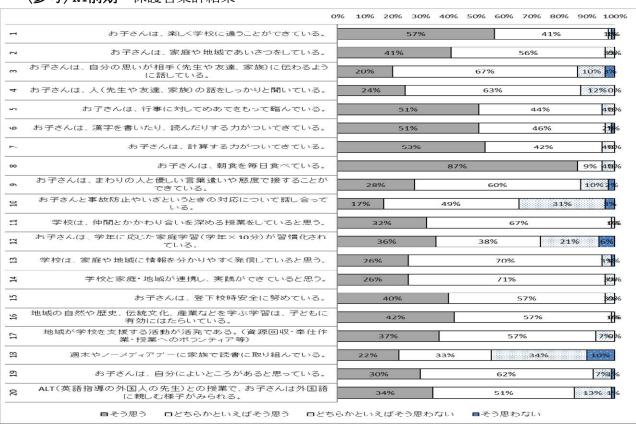
〈参考〉R1前期 児童集計結果

	0%	10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
-	あなたは、楽しく学校生活をおくることができている。	72% 22% 491%
7	友達と話し合いながら学び合うと、授業が分かりやすい。	71% 27%
3	あなたは、先生や友達、家族や地域の人にあいさつをしている。	83% 17% 0%
4	授業では、先生や友達にはっきりと伝わるように話している。	60% 33% 6%
2	授業では、先生や友達の話を理解しようと、話をしっかり聞いている。	71% 23% 191%
9	夢や白分なりの目標を持ってがんばっていることがある。	76% 21% 21%
7	ろうかや階段を静かに歩くことができた。	46% 40% 10% 4%
∞	友達がいやがることをしなかった。	74% 20% 32%
6	朝運動に進んで取り組んでいる。	74% D4% C
9	外遊びの時間に進んで外に出ている。	80% 19% 1
Ħ	かかさず朝良を食べている。	92% 6%(7)%
12	学校やクラスのために進んで協力し、白分の仕事をきちんと行う ことができた。	76% 24% 0%
13	友だちを大切にし、やさしい言葉や態度で接することができた。	71% 24% 499%
#	宿題をしっかりやっている。	88% 12%0%
15	学校やクラスでの自分の役割がわかり、役割を果たすことができ た。	79% 21% 0%
16	地域の人から学んだり、出かけて地域を知る学習は楽しい。	91% 7%
17	たてわり活動では、他の学年のなかまとなかよく助け合うことがで きた。	82% 17% 11%
8	学級会や委員会の話し合いでみんなのために自分の考えを言え た。	57% 38% 29%
19	学校で空いた時間に進んで読書をすることができた。	47% 31% 17% 6%
70	家庭読書の日(金曜日)を中心に家庭で読書をすることができ た。	60% 29% 8% 5%
71	自分には、よいところがあると思う。	50% 32% 12% 6%
75	ALT(ジェニー先生)との授業が楽しい	86% 9% 19%

R1後期 保護者集計結果



〈参考〉R1前期 保護者集計結果

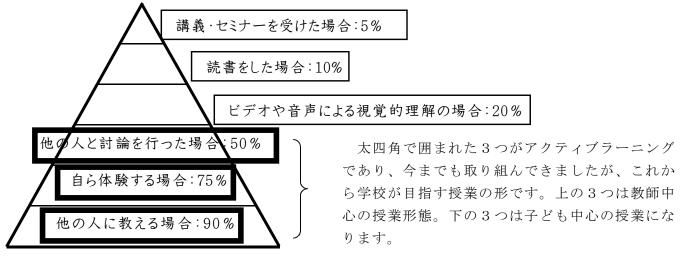


〈集計結果からみられる本校のよい表われ〉

- ○「そう思う」と答える児童の割合が、令和元年度前期のアンケートより多くなった項目は次の通りです。
- 「友達と話し合いながら学び合うと、授業が分かりやすい」
- ・「朝運動に進んで取り組んでいる」
- ○「友達と話し合いながら学び合うと、授業が分かりやすい」と自信をもって答えた児童が、71% から81%へ伸びています。

令和2年度から、小学校で新しい学習指導要領がスタートします。教科書が新しくなり、学習する 内容も今までと少し変わります。また、今までも取り組んできた「主体的に学ぶ」ということが、さ らに重要になってきます。教わるのではなく、「自ら学ぶこと」がさらに自分の身につくことにつな がります。

下図をご覧ください。(百分率は平均学習定着率です。)



友達と対話をする機会を多く設定してきた成果が表れてきました。友達と話し合うことで、理解が深くなることの証明にもなっています。これからも子ども中心の授業になるように取り組んでいきます。

また、評価も変わります。現行では国語では5観点、その他の教科は4観点でしたが、すべての教 科が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点になります。

○「朝運動に進んで取り組んでいる」と自信を持って答えた児童が、7 4 %から8 1 %になりました。このアンケートをとった時期が持久走大会の頃と重なっていたため、自分のめあてに向かって一生懸命に練習し、記録を伸ばそうとしていたことが分かります。今年度は、試走から持久走大会までの天候が悪く、運動場を走る練習がなかなかできなかったのですが、子供たちは気持ちを持続させ、本番に臨みました。その結果、試走よりもタイムが伸びた子がとても多く、なによりも全員が完走できたことは、修善寺小の誇れるところだと思います。その後の「体力アップコンテスト」にも自分たちの記録に挑戦し、自己ベストを出したときにはクラス全員で歓喜の声を上げていました。現在も寒さに負けず、短縄跳び等で元気に体を動かしています。

○保護者の皆様のアンケートで、「お子さんは、家庭や地域であいさつをしている」という項目では、 自信を持ってそう思うと答えた割合が前期41%から後期51%に伸びています。挨拶は、地道な取 り組みがじわじわと表れてくるものだと思います。1年間の取り組みというより、数年間の取り組み として、見ていきたいと思っています。数年前より、二言挨拶や自然な挨拶が増えてきました。ご家 庭での挨拶もとても大事です。声かけをお願いします。

【評価委員より】

朝、横断歩道で登校指導をしていると、遠くの方から「〇〇さんおはようございます!」と、全員が元気な挨拶をしてくれます。「自分から挨拶」「自然に挨拶」を目指して、周りの大人が声をかけながら、挨拶の良さを伝えていくことが大事です。挨拶のできない大人や人とコミュニケーションをとるのが苦手な大人がいます。修善寺小の卒業生は、全員が気持ちの良い挨拶ができる大人になって欲しいと思っています。

〈保護者の意見及び学校からの回答〉※複数あったご意見に回答しています。

「持久走大会では、保育園の送りの車と時間が重なり、危険なのでは。」というご意見がありました。 子供たちが走る時間帯と保育園へのお子さんを送っていく車との時間をずらして計画したいと思います。今年度は1時間目2時間目に実施していましたが、次年度は2時間目3時間目に行いたいと考えています。

「保護者の人数も減り、資源回収の人出が足りない。」というご意見がありました。

今年度は12月の資源回収が保育園との行事と重なってしまいました。その時期の資源回収を1回減らして、次年度は資源回収を5月・9月・1月の3回にしたいと考えています。

貴重なご意見をありがとうございました。その他のご意見につきましては、すべての教育活動に反映で きるものではありませんが、今後の参考にさせていただきます。下記にご紹介だけいたします。

- ※尚、個人的な内容の記述に関しましては割愛させていただきました。
- ・あゆみは、毎日書いているので文章力がついてきている。
- ・一人一人発表の場を設けて頂いているので、発表の力が身についてきているので良い。
- ・だるまっこフェスティバルでは、各学年自分たちのブースをいかにお客さんに楽しんでもらえるか を考え、創造創作する取り組みがすばらしいと思いました。
- ・だるまっこフェスティバルで、老人会の方々が子供たちの為に、色々な手作りの物を作ってくれてました。時間を掛けて作る物があり子供たちへの温かい思いが伝わってきます。相手を思い、作り上げることを家で話をしました。改めて老人会の方々に感謝しています。
- ・だるまっこフェスティバルは、子供たちがお客をもてなそうとするがんばりが伝わってきて、とて も良いイベントだと思います。
- ・授業参観では、教室に入らない保護者が多く、子供の様子をもっと見た方が良いと思います。
- ・仕事の都合で、今年度の懇談会に1度も参加できていないのですが、懇談会での内容などを知れた ら嬉しいです。(プリント等)
- ・少し遠くからでも挨拶をしてくださる先生がいらっしゃいます。挨拶の大切さをそんな先生から子供たちへ引き継がれているのか、先生たちも進んで挨拶をできる子供たちが多く感じられて嬉しく思います。